

## 胆沢ダム建設事業マネジメント委員会

## 趣 意 書

胆沢ダムは北上川水系右支川胆沢川の上流、奥州市胆沢区若柳馬留地内に建設中の多目的ダムである。

胆沢ダム建設事業は昭和58年度に実施計画調査を開始以来、昭和63年度に建設事業着手、平成3年度の一般補償基準妥結調印、平成4年度の付替道路工事着手、平成14年度には本体工事に着手している。平成20年10月には堤体盛り立て量が、1,000万m<sup>3</sup>を達成するとともに、付替国道についても、一部供用を開始している。

ダム建設事業は、多種で長期に渡る工程と多額の事業費を必要とするプロジェクトである。

その間に事業進捗や社会情勢の変化により、事業内容の変更およびそれに伴う総事業費の変更が余儀なくされる事例が見受けられるところである。

一方、公共事業については、一層のコスト縮減、工期の遵守に取り組んでいくことが求められている。

これらの状況から、胆沢ダム建設事業全般における実施状況・進捗状況等について確認を行い、事業費・工程管理の一層の充実を図るため、胆沢ダム工事事務所長に対し意見を述べることを目的とした本委員会を設立するものである。

## 胆沢ダム建設事業マネジメント委員会 委員名簿

区 分		氏 名	所 属	役 職
学識者	治水	堺 茂樹	岩手大学工学部	工学部長
	経済	堤 研一	公認会計士・税理士 堤研一事務所	所長
利水者	上水道	高橋 力	奥州金ヶ崎行政事務組合	事務局長
	発電	横山 博文	電源開発株式会社 水力エンジニアリング部	土木技術室室長代理
		池内 達	岩手県企業局	業務課総括課長
行政関係	県	今野 政和	岩手県県土整備部	河川開発担当課長
		鷺巢 俊之	宮城県土木部	河川課長